

内閣官房情報通信技術(IT)総合戦略室企画官

## 清重 典宏 Kiyoshige Norihiro

平成 14年 4月 総務省採用  
 8月 同 総合通信基盤局電気通信事業部電気通信技術システム課  
 平成 16年 7月 同 大臣官房総務課  
 平成 17年 8月 国土交通省道路局道路交通管理課高度道路交通システム推進室  
 情報システム係長  
 平成 19年 7月 総務省総合通信基盤局国際部国際政策課政策係長  
 平成 20年 7月 同 情報通信国際戦略局国際政策課国際機関室課長補佐  
 10月 同 情報通信国際戦略局国際政策課課長補佐  
 平成 21年 5月 外務省在シドニー日本国総領事館副領事  
 7月 外務省在シドニー日本国総領事館領事  
 平成 24年 7月 総務省情報通信国際戦略局国際政策課課長補佐  
 8月 同 総合通信基盤局電気通信事業部料金サービス課課長補佐  
 平成 27年 8月 同 情報流通行政局情報通信作品振興課アイビーテレビ調整官  
 平成 30年 8月 内閣官房情報通信技術(IT)総合戦略室参事官補佐  
 令和 2年 8月 現職



# 未来の社会に柔軟な発想で

### デジタル社会を目指して

現在、内閣官房IT総合戦略室において、令和3年9月に創設を目指すデジタル庁の設置準備を進めています。以前から、デジタル化の必要性は唱えられてきましたが、コロナ禍を通じて、紙をデジタルに置き換えただけの表面的なデジタル化ではなく、テレワークをはじめとする新たな生活習慣を前提とする社会生活に合わせたデジタル化に取り組む必要性が高まってきました。しかしながら、これを進めるには、物理的なインフラ整備からデータ利活用の仕組みなど様々な階層での対応が必要となります。生活様式が変わっていく中で、私たちの生活や仕事を便利にしていけるデジタル化が実現できるか、10年後、20年後の未来に対して、情報通信分野に対する社会の期待が一層大きくなっていると感じています。

### 国家公務員の仕事

私たちの仕事は、2、3年程度で部署を異動し、異なる分野の行政を担当したり、また、情報通信分野でも規制から振興、研究開発と

様々な観点から携わっていきます。この幅の広さが国家公務員の仕事の最大の魅力の一つです。これまで総務省では、放送番組のネット同時配信の推進や通信事業者間でやり取りする料金の適正化、通信事業者の設備の技術基準の策定などを担当し、また、出向を通じて他省庁での勤務や在外公館で外交官としての勤務を経験してきました。

様々な立場の方と一緒に仕事ができる機会は、自分の視野を広げることもつながり、多くの刺激を受けながら業務に取り組んでいます。

### 学生の皆さんへ

世界が、ウィズコロナを経て、今後、アフターコロナ時代に向かう中、日々の生活からグローバルな課題に至るまで、総務省が担う情報通信分野の役割がより一層重要になります。私自身、学生時代は、情報通信とあまり関係のない分野を専攻して総務省に入りましたが、特に情報通信分野を起点としながらもより多様な視点で柔軟に施策を考えられる人材の必要性を感じています。専門分野に捉われず、柔軟な発想で新しいことにどんどん挑戦し

ていきたいと考えている皆さんと一緒に働けることを楽しみにしています。



### 今の仕事

私は6年前と同じ、通信の仕事に関する法律である「電気通信事業法」を所管する部署（電気通信事業部）に戻ってきました。当時はデータ通信課、今は電気通信技術システム課と課こそ違いますが、どちらも電気通信事業法の一部を担当している立場です。しかし電気通信事業法自体は改正され、以前と変わっています。

そのようなことが起こるのは、法律で手当てしなくてはいけないものが時代に合わせて変わるからです。通信に関係する技術や使い方、使う人はすぐに変化します。私が今いる職場は日々新しいことを見聞して、今、またはこの先にどんなルールが必要か、そんなことを皆で考えている職場です。

### 総務省の外でも働けるということ

これまで私は総務省以外の職場でも働いてきました。シンガポール日本国大使館もそのうちの1つです。シンガポールは面積が約7百平方キ

ロメートル。東京23区と同じくらいの面積です。そこに、中華系、マレー系、インド系などの国民が混ざり合って生活しています。前提、文化、考え方が自分とは異なる人がいることが当たり前の国ですので、民族同士が上手く生活し、国がまとまるよう、色々な工夫をしています。シンガポールで暮らしたことは、人間とは、社会とは、ということを変更して考える良い機会になりました。

自分の省庁以外でも働き、新しい経験が出来るというのは総務省で働く魅力の1つだと思っています。

### 就職活動をされている皆様へ

この冊子は総務省の職場で働いている人がどんなことを思っているか、その一端が見える面白いパンフレットになっていると思います。しかし、ここに書いてあるのは他の人にとっての総務省での働き方です。“総務省で働く”ということがどのように映るかは各個人の感性や興味分野などによります。働くという意味や目的は人によって全く異なるのだと思います。

就活だって人それぞれです。悩んでいることも正解だし、悩みなくいることも正解なのだと思います。

そのような中でこのパンフレットや他のパンフレット、HPなどを見て、あなたの”就活”の中で総務省に引っかかるものがあれば、総務省に是非アクセスしてみてください。



# ルールは変わるもの

総合通信基盤局電気通信事業部  
 電気通信技術システム課課長補佐

## 西室 洋介 NISHIMURO Yosuke

平成 15年 4月 総務省採用  
 8月 同 情報通信政策局技術政策課  
 平成 17年 8月 同 大臣官房総務課  
 平成 18年 8月 経済産業省産業技術環境局産業技術政策課国際室企画係長  
 併任 産業技術環境局技術評価調査課技術調査室  
 海外調査一係長  
 平成 20年 7月 総務省総合通信基盤局電波部移動通信システム開発係長  
 併任 移動通信課新世代移動通信システム推進室主査  
 平成 21年 7月 藤沢市市長室産業戦略担当参事  
 平成 22年 4月 同 産業戦略担当部長  
 平成 24年 8月 総務省総合通信基盤局電気通信事業部事業政策課課長補佐  
 平成 25年 7月 同 総合通信基盤局電気通信事業部データ通信課  
 インターネットドメイン利用推進官  
 平成 27年 6月 外務省在シンガポール日本国大使館一等書記官  
 平成 30年 6月 総務省総合通信基盤局電波部電波政策課課長補佐  
 8月 同 総合通信基盤局電波部移動通信課  
 新世代移動通信システム推進室課長補佐  
 併任 総合通信基盤局電波部移動通信課  
 高度道路交通システム推進室室長補佐  
 平成 31年 4月 同 国際戦略局宇宙通信政策課衛星開発推進官  
 令和 2年 8月 現職

